

わたしたちは皆、主なる神を父として祈ることができる。一人であっても祈ることができる。その祈りは聞かれている。それは、わたしたちに与えられた特別な恵みです。

祈りは神と人を結ぶばかりでなく、お互いを結び、力付けることができます。自分のことばかりでなく、だれかを覚えていのようにしましょう。

- ・世界の戦争と紛争が止み、平和がもたらされるように。
- ・長く続く感染症の脅威の中でもそれぞれの信仰生活が支えられるように。
- ・コロナウイルスの脅威にさらされ弱っている世界の人々を覚えて。
- ・医療や様々な支援に携わっている人々を覚えて。
- ・困難にある諸教会が支えられるように。
- ・災害や経済の困難な中にある人々のために。

引き続き以下のことを覚えて祈りましょう。

・教会のため

礼拝堂での礼拝を維持することができるように。そのための奉仕と対策が守られるように。  
自主礼拝のための音声配信や発送の労をとっている奉仕者を覚えて。  
礼拝に集うことがかなわず、自主礼拝・家庭礼拝を守り、祈っている兄弟姉妹のために。  
役員（長老）会の働きを覚えて。  
この危機のために困難を負っている諸教会のために。

・教会学校 幼稚園のために

教会学校は全クラス一緒に礼拝を守っています。分級は休んでいますが、お楽しみも考えながら続けています。  
幼稚園は感染予防を行い、通常保育を続けていますが、行事や活動が制限されています。  
それぞれ、子どもたち先生たちが守られますように。  
受験や新たな進路に向かう若い人々を覚えて。

・信仰生活のため

教会の暦ではクリスマスから四旬節（レント、受難節）に向かう歩みの中にあります。  
この時に、わたしたちの救いのために受肉された主が、十字架へと向かわれる中で、人々を招き、教え、祈り、癒されたことを覚え、聖書に親しみ祈るようにしましょう。

・教会の友と兄弟姉妹のために

長い間外出が制限され、心と体が弱っている人々のために。高齢の教会員のために。一人暮らしの兄弟姉妹のために。  
愛する者を主のみもとに召され、寂しさの中にある兄弟姉妹を覚えて。「栄光」の記事を参照し主の御慰めをお祈りください。  
家族と愛する人々が守られますように。